

あいち

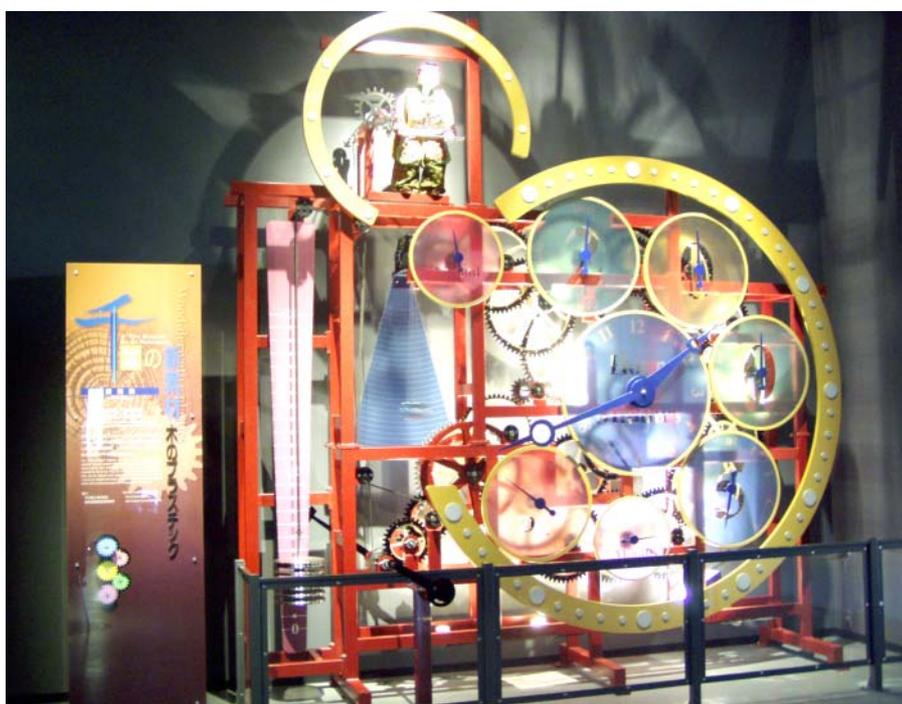
産業労働 ニュース

No.96

(平成17年3月25日発行)

このニュースは電子メールでも
配信しています。登録希望の方
は最終頁を参照ください。

愛知万博が開幕しました！



中部千年共生村に出展されている「千年時計」



製作に参加した豊川工業高校の生徒さん



万博会場の新エネルギープラント

本日、愛知万博が開幕しました。今回は、県産業労働部と関わりの深い「千年時計」と「新エネルギーの実証研究」の2つについてご紹介します。

千年時計を展示します

愛知万博に中部9県が共同出展している「中部千年共生村」に、本県は千年の時を刻む、巨大な時計「千年時計」を展示しています。

千年時計は高さ4.5m、横幅4mもあり、秒、分、時、日、月、年、十年、百年、千年の大きな文字盤があります。来場者がハンドルを回すと、からくり人形と一緒に重りを巻き上げ、振り子が動いて歯車が回ります。

千年時計の大きな歯車は、木質100%のまったく新しい材料「木質プラスチック」でつくりました。この木質プラスチックは、愛知県産業技術研究所と

財団法人科学技術交流財団が、木質資源の有効活用を図る共同研究で開発したものです。原料に石油を必要とせず、かんなくずや廃材からつくられ、プラスチックと同等の強度を持つという「未来の材料」です。歯車製作は同研究所と中日精工(株)が担当しました。設計は、日本では数少ない、機械式時計を手作りしている時計師の成瀬拓郎さん(名古屋市区)によるものです。

去年の夏休みには、県立豊川工業高校の12名の生徒さんが、「万博への参加」に共感し、就業体験として製作に参加しました。

新エネルギーの実証研究

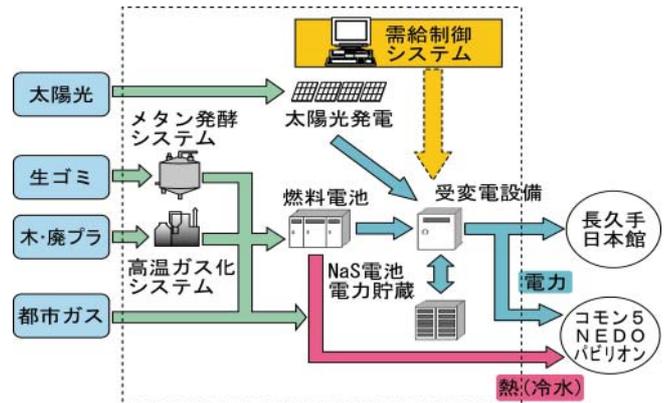
「新エネルギー等地域集中実証研究事業(注)」は、万博のテーマである「自然の叡智」、「循環型社会」を具現化する事業として、中部電力(株)をはじめ9つ

の企業・団体で構成する「新エネルギーコンソーシアム」によって長久手会場で行なわれています。

この実証研究は、自然エネルギーを使う太陽光発電、効率が高く省エネルギー性に優れた電源として期待されている燃料電池、電力を貯蔵して需給バランス確保の一役を担うNaS電池、及びこれらを最適制御する需給制御システムにより構成されるエネルギー需給システムを用い、その有効性を実証するもので、燃料電池、太陽光発電など複数の新エネルギーを組み合わせ、IT技術を活用した需給制御により、クリーンで安定した電力を供給する世界初の試みとなるものです。(総発電能力：約2,300kW)

また、燃料電池の燃料となる水素等をバイオマスエネルギーから取り出す設備として、会場から出る生ゴミを利用するメタン発酵システム、会場造成時に伐採された木材や会場から出るペットボトルを利用する高温ガス化システムが設置され、これらのシステムは、地域の資源を循環して活用する「循環型社会」の実現を実証するものです。

このプラントは、博覧会終了後、中部国際空港に近接する中部臨空都市（常滑市）に移設され、実証研究を継続実施することにしています。



愛知万博におけるシステムフロー図

注：新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託により、中部電力、トヨタ自動車、NTTファシリティーズ、日本ガイシ、三菱重工業、京セラ、日本環境技研、2005年日本国際博覧会協会(万博会場)、愛知県(中部臨空都市)が事業を行う。

問合せ先（千年時計）

産業技術課 技術振興グループ

電話 052-954-6348（ダイヤルイン）

問合せ先（新エネルギー）

産業技術課 次世代エネルギー・指導グループ

電話 052-954-6351（ダイヤルイン）

愛知県新エネルギー関連産業振興計画を策定しました

本県ではこのほど、厚いものづくり産業の集積というポテンシャルを生かして、水素エネルギーや燃料電池を中心とする新エネルギー関連産業の振興、育成を図るために、その指針となる「愛知県新エネルギー関連産業振興計画」を策定しました。

今後は、目標年次の2010年度（平成22年度）に向け、去る2月4日に発足した、地域の産学行政で構成する「愛知県水素エネルギー産業協議会」を通じ計画の概要スキーム

て、プロジェクトの立ち上げなどを展開していきます。

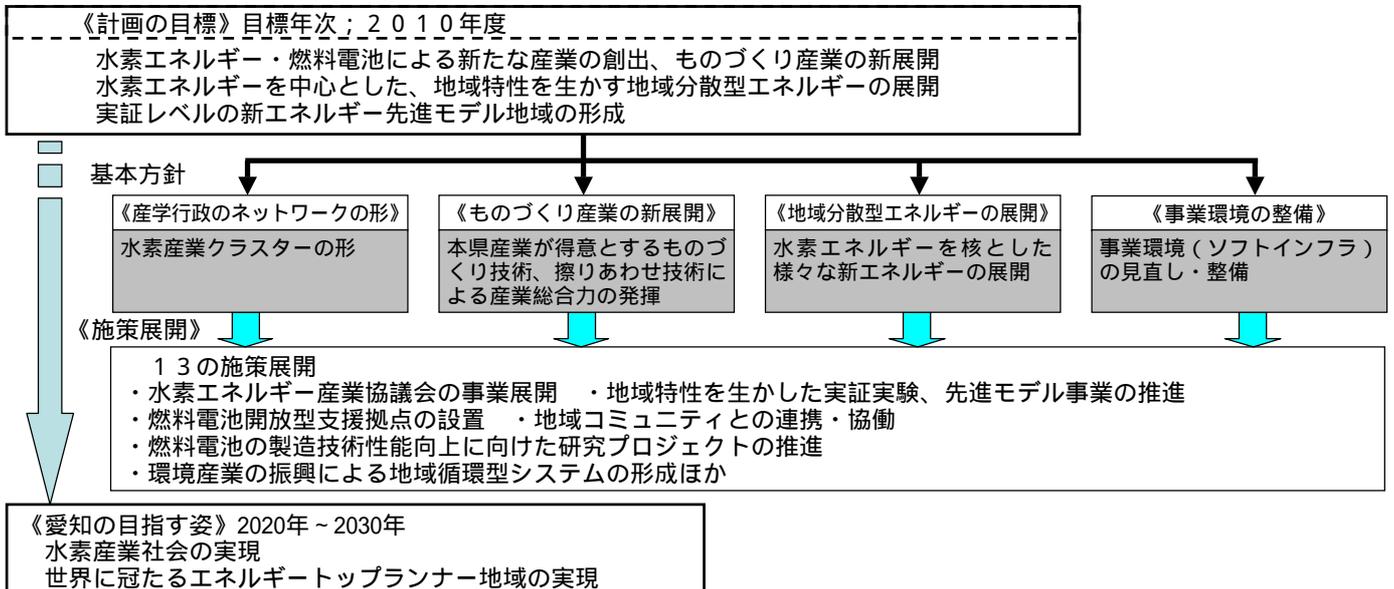
詳しくは

<http://www.pref.aichi.jp/sangyo/>

問合せ先

産業技術課 次世代エネルギー・指導グループ

電話 052-954-6351（ダイヤルイン）



JB (ジョイント・尾州) パリ展が開催されました

JBブランド構築実行委員会は、尾州（尾張西部地域）産地で初めてとなる海外展示会をフランス・パリで開催しました。「日本におけるテキスタイル文化の開花」- 尾州ブランドの発信 - をテーマにルーヴル美術館内のル・オールデ・マレショーで開催された展示会では、織物メーカー16社と1グループが開発した春夏物生地160点、秋冬物生地70点のほか江戸時代の陣羽織など毛織物の文化作品が展示されました。

3月6日から8日までの会期中に、ウンガロやマダムカルヴァンなど有名なオートクチュール（高級衣装店組合）メゾンを始め、プレタポルテ（高級既製服）協会メンバー及び渡仏中の日本アパレル企業関係者や、ニューヨークタイムズなどのジャーナリ

ストの来場もあり、3日間合計の来場者は368人になりました。また、7日にはレセプションも開催され、フランスのファッション関係者や政府関係者など約100名の参加がありました。



尾州産の最新テキスタイルを熱心に見るフランスのアパレル関係者

問合せ先
新産業振興課繊維生活産業室 繊維指導・振興グループ
電話 052-954-6343 (ダイヤルイン)
愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センター
電話 0586-45-7871

鷺や鷹柄に染めた本物そっくりの矢羽根を企業と共同開発

弓道用の矢羽根は、古来から鷺、鷹など、猛禽類の野鳥の羽根が使用されてきましたが、1980年に批准された「ワシントン条約」と平成4年に制定された国内法の「種の保存法」により、輸入規制・国内取引規制が始まり、商業ベースの入手が禁止になりました。

そこで、愛知県産業技術研究所三河繊維技術センターは、鷺や鷹の羽根の代替品の開発に有限会社小山矢と共同で取り組み、繊維の染色に用いる転写捺染技術を応用して、羽根の持つ特徴を損なわず、鷺や鷹柄に染色した本物そっくりの矢羽根の実用化に成功しました。原料には入手が容易で安価な七面鳥の羽根を使用します。この製品は、色や柄を自由に設定できるため、弓道用の矢羽根だけでなく、インテリア、装飾用などに幅広い用途展開が可能です。

また、染色の際に廃水を発生しないのも特徴です。



【天然鷺の羽根】 【開発品】

詳しくは
<http://www.aichi-inst.jp/>
問合せ先
愛知県産業技術研究所
三河繊維技術センター開発技術室
電話 0533-59-7146

愛知中小企業再生ファンドが設立されます

中部経済産業局、県及び名古屋商工会議所では、地域の金融機関による地域中小企業再生ファンドの設立について検討を進めてきましたが、このほど独立行政法人中小企業基盤整備機構の参加を得て、平成17年3月30日に「投資事業有限責任組合愛知中小企業再生ファンド」が設立される運びとなりました。

名称 投資事業有限責任組合愛知中小企業再生ファンド
ファンド規模 28億2千万円
無限責任組合員（運営会社）
株式会社ソリューションデザイン

有限責任組合員（出資者）
愛知県に本店を置く銀行及び信用金庫、地元企業、独立行政法人中小企業基盤整備機構
設立年月日 平成17年3月30日

詳しくは
<http://www.pref.aichi.jp/kinyu/>
問合せ先
中小企業金融課 融資グループ
電話 052-954-6333 (ダイヤルイン)

前期技能検定のご案内

技能検定は、労働者が持っている技能を一定の基準によって検定し、これを国が公証する制度です。

実施日程、申請手続き等の概要は次のとおりです。

実施日程

- ・実技試験 平成17年6月13日(月)から平成17年9月11日(日)までの間で別に指定する日
- ・学科試験 平成17年7月31日(日)、8月21日(日)28日(日)、31日(水)、9月4日(日)のうち別に指定する日
- ・合格発表 平成17年8月30日(火)
平成17年10月4日(火)

金属熱処理及び写真を除く3級職種が対象

受検手数料

- ・実技試験 10,500円～15,700円(各職種ごとに定められた額)
- ・学科試験 3,100円

受検申請手続き

- ・受付期間 平成17年4月4日(月)～15日(金)
- ・受付窓口 愛知県職業能力開発協会
〒451-0035 名古屋市西区浅間2-3-14
- ・提出書類
 - ・技能検定受検申請書
 - ・実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証する書面
- ・その他 受検申請書及び受検案内は、愛知県職業能力開発協会の他、各県民生活プラザで交付します。

詳しくは

<http://www.avada.or.jp/>

問合せ先

愛知県職業能力開発協会

電話 052-524-2034

就業促進課事業内訓練・技能検定グループ

電話 052-954-6365(ダイヤルイン)

内職相談のご案内

財団法人愛知県福利協会では、内職に関する相談、紹介、あっせん及び技術指導を行っています。

内職を希望される方、内職品を提供していただける事業所の方、その他内職についてお知りになりたい方は、協会本部のほかお近くの内職相談コーナーをご利用ください。

また、平成17年度から、県民生活プラザ・県内13所での相談曜日が変更されます。

【協会本部(相談時間：午前9時～午後4時)】

| | |
|------|-------------------|
| 所在地 | 名古屋市中区大須4-15-12 |
| 相談曜日 | 月～金曜日(祝日・振替休日を除く) |
| 問合せ先 | 052-263-1331 |

【県民生活プラザ(相談時間：午前10時～午後3時)】

| | |
|------|--------------------|
| プラザ | 尾張・知多・西三河・豊田加茂・東三河 |
| 相談曜日 | 毎月第2・4火曜日(祝日除く) |

【名古屋市各区(相談時間：午前10時～午後3時)】

相談は各区役所で行っています(祝日除く)。

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 千種区 | 毎週金曜日 | 中川区 | 毎週火曜日 |
| 東区 | 毎週火曜日 | 港区 | 毎週金曜日 |
| 北区 | 毎週火曜日 | 南区 | 毎週木曜日 |
| 西区 | 毎週木曜日 | 守山区 | 毎週火曜日 |

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 中村区 | 毎週木曜日 | 緑区 | 毎週金曜日 |
| 昭和区 | 毎週火曜日 | 名東区 | 毎週火曜日 |
| 瑞穂区 | 毎週金曜日 | 天白区 | 毎週金曜日 |
| 熱田区 | 毎週火曜日 | | |

【県内13所(相談時間：午前10時～午後3時)】

| | 相談曜日 | 問合せ先 |
|------|-------|---------------------------|
| 一宮市 | 毎週月曜日 | 0586-72-5052 |
| 尾西支所 | 毎週火曜日 | 0586-62-8111 |
| 瀬戸市 | 毎週金曜日 | 0561-84-2011 |
| 半田市 | 毎週木曜日 | 0569-21-3111 |
| 春日井市 | 毎週火曜日 | 0568-84-4612 |
| 豊川市 | 毎週金曜日 | 0533-83-5211 |
| 津島市 | 毎週木曜日 | 0567-24-3456 |
| 安城市 | 毎週金曜日 | 0566-76-1111 |
| 西尾市 | 毎週金曜日 | 0563-56-5900 |
| 犬山市 | 毎週火曜日 | 0568-61-4613 |
| 江南市 | 毎週金曜日 | 0587-53-0131 |
| 小牧市 | 毎週木曜日 | 0568-77-0123 |
| 東海市 | 毎週木曜日 | 052-603-2211/0562-33-1111 |

祝日・振替休日を除く。

詳しくは

<http://www.pref.aichi.jp/rodofukushi/>

問合せ先

財団法人愛知県福利協会

電話 052-263-1331

はかりの定期検査(4月実施分)のご案内

商店・工場や病院・学校等で取引・証明されるはかりは、2年に1回定期検査を受けることが義務付けられています。4月は三好町(19日)、額田町(21日)にて定期検査を実施します。

検査実施機関：(社)愛知県計量連合会

詳しくは

<http://www.pref.aichi.jp/shogyo/keiryo/senta0.html>

問合せ先

愛知県計量センター 電話 052-603-6300

(社)愛知県計量連合会 電話 052-581-2021

産業労働部 平成16年度 主な出来事

「ヤング・ジョブ・あいち」を開設（7月）

30歳未満の方を対象に、雇用関連サービスをワンストップで提供する「ヤング・ジョブ・あいち」を7月に開設しました。



入所施設（電話番号）

- ・あいち若者職業支援センター（052-264-0667）
- ・しごとふれあい広場あいち（052-264-0633）
- ・愛知学生職業センター（052-264-0701）
- ・ヤングワークプラザあいち（052-264-0601）

「愛知の発明の日」記念イベントを開催（8月）

「あいち知的財産創造プラン」の柱の1つである知的財産を大切にする風土づくりを進めるため、豊田佐吉翁の特許にちなむ8月1日を「愛知の発明の日」として、記念イベントを開催。優秀発明者の発表やシンポジウムなどに延べ約900名



子供科学博士の近藤正樹君

あいちベンチャーファンドを設立（12月）

県では、ベンチャーファンドの運営者に日本アジア投資(株)を選定。同社始め民間企業の方々とともに出資を行い、「あいちベンチャーファンド」を設立しました（ファンド総額7.7億円）。



調印後、日本アジア投資(株)立岡社長と握手する神田知事

このファンドは、成長性を有する県内ベンチャー企業等への投資を行うとともに経営支援（ハンズオン）を行うものです。

「愛知県産業創造計画」を策定（1月）

中部国際空港の開港、愛知万博の開催といった二大プロジェクトの成果を生かした、今後の産業振興施策の新たな指針となる「愛知県産業創造計画」を策定しました。今後は、目標年次の2010年度に向け、様々な主体との連携・協働により、この計画に掲げたプロジェクトを展開していきます。

「あいち就業促進プラン」を策定（2月）

産業創造計画と連動して、2010年度を目標に本県の就業促進の方向性を示す「あいち就業促進プラン」を策定しました。将来の労働力不足に着目し、若年者、高齢者、女性等の雇用に困難を抱える階層の就業促進を図る計画は全国初です。

「愛知県水素エネルギー産業協議会」の発足（2月）

燃料電池（水素エネルギー分野）への取組みについて協議し、これを推進するための「愛知県水素エネルギー産業協議会」を発足させました。今後、研究プロジェクトの立ち上げやフォーラム、研究会の活動を進めていきます。



その他の主な出来事

4月

- ・上海産業情報センターが開設。
- ・旅の総合見本市「旅フェア2004」がナゴヤドームで開催。

5月～

- ・三菱自動車岡崎工場の車体生産終了方針を踏まえ雇用及び産業対策を実施。

9月

- ・「地域紹介・観光ボランティアガイド全国大会」がホテル日航豊橋で開催。

10月

- ・知事が「外国企業誘致トップセールス」のためサンフランシスコ市（アメリカ）を訪問。
- ・皇太子殿下が愛知障害者職業能力開発校をご視察。
- ・県が設立を働きかけていた、特許審査の先行技術調査を行う日本初の民間会社「テクノサーチ(株)」が設立。

11月

- ・県が名古屋大学との間で、「環境調和型・持続可能社会の構築に向けた連携実施協定」を締結。

2月

- ・愛知県、岐阜県、三重県及び名古屋市が共同して「中部国際空港観光案内所」を設置。

3月

- ・愛知中小企業再生ファンドの設立（詳しくは3ページ）。
- ・愛知県新エネルギー関連産業振興計画を策定（詳しくは2ページ）。

万博期間中に名古屋駅コンコースで観光案内を実施

愛知万博の開催に合わせて、県内各地の観光地への誘客促進を図るため、おもてなし愛知大型観光キャンペーン実施協議会（会長：愛知県知事神田真秋）では、(財)2005年日本国際博覧会協会がJR名古屋駅コンコース中央改札口前付近に設置した「EXPO INFORMATION」において、3月18日から県内の観光案内を開始しました。

「EXPO INFORMATION」では、こ

のほか、万博会場へのアクセス・会場内イベントの案内など万博に関する情報提供を行っています。

詳しくは
<http://www.pref.aichi.jp/kanko/>
問合せ先
観光交流課 観光振興グループ
電話 052-954-6355 (ダイヤルイン)

最近の県内経済動向

最近の「鉱工業生産」、「物価」、「貿易」、「設備投資」、「個人消費」、「企業倒産」各経済指標の動きを産業労働総務課のホームページに掲載していますのでご利用ください。

詳しくは
<http://www.pref.aichi.jp/sanro-somu/news/17.3.25/doukou.htm>
問合せ先
産業労働総務課 広報・企画調整グループ
電話 052-954-6330 (ダイヤルイン)

県関連倒産防止資金融資制度の倒産企業状況

関連倒産防止資金融資制度に係る県認定倒産企業（3月1日～3月15日認定分）は次のとおりです。
(株)グローブ(稲沢市) / (株)ジューケー(一宮市) / (株)サンロフミー(一宮市) / 丸末織布(株)(蒲郡市) / (有)関戸建設(岩倉市) / (名)八百玉商店(尾西市)

詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/kinyu/>

セーフティネット保証の指定事業者については中小企業庁のホームページをご覧ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

問合せ先
中小企業金融課 融資グループ
電話 052-954-6333 (ダイヤルイン)
県信用保証協会 電話 052-454-0550

このニュースはホームページ等でも情報発信しています。

インターネットホームページ

ホームページにも全文掲載してありますので、次のアドレスからご覧ください。

なお、本文はPDF形式のファイルですので必要に応じて読取りソフトをダウンロードしてください。

アドレス <http://www.pref.aichi.jp/sanro-somu/news/top.htm>

メールマガジンによる配信

本誌はメールマガジンとしても発行しています。配信希望の方はホームページから送付先アドレスの登録を行ってください。また登録された方にはあわせて、(財)愛知県中小企業振興公社 産業情報センター発行の中小企業支援情報誌「あいち産業情報」も送付いたします。

編集・発行

愛知県産業労働部産業労働総務課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

☎(052)961-2111(代) FAX(052)954-6923

☎(052)954-6330 (ダイヤルイン)

【ホームページ】<http://www.pref.aichi.jp/sanro-somu/> 【E-mail】sanro-somu@pref.aichi.lg.jp

この記事は機関紙等へ再掲されるようお願いします。

